

消防団員を募集しています

第2分団 副分団長

山田淳二さん



私は15年前にも碧南市消防団員として活動した経験があります。当時から防災訓練や火災現場での消火活動、風水害での災害防御などさまざまな経験のなかで地域における防災ボランティアの大切さを学ばせてもらい、また結束し共に活動した仲間とは生涯の友として友情を育むことができました。このころから、自分が生まれ育ち、暮らす地域のためにできることは何なのか関心を持つようになりました。

碧南市消防団は現在5つの分団、約100人の団員と150人の予備隊員で構成され、日々わがまち碧南市の消防・防災に備えた活動をしています。地域における消防・防災のリーダーとして、平常時・災害時を問わず地域に密着し、自分の暮らす地域の安心と安全を守るために重要な役割を担います。

消防団員の活動は誰にでもできます。そして愛する郷土、家族、友人、会社など「誰かのための力になる」。そんな使命感を得ることは、自分自身を成長させ、幸せな人生を送ることにつながると思います。これからも地域の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

第3分団 部長

齋藤堂晴さん



入団した当初は、私にとって慣れないことばかりで大変でした。「なぜ自分がやらなければならない？」と、活動に対し受動的、消極的な姿勢になることもありました。しかし、実際に火事場で放水したり、地域の防災資材などに触れていくなかで、「自分がやらなければ誰がやる」という能動的、積極的な考えになっていきました。このことは、消防団活動においてのみでなく、私の人生における成長のよいきっかけとなったと考えています。

消防団の仲間は皆、年齢も家庭環境も仕事もさまざまです。価値観もバラバラな者同士が集まり、時間などいろいろなものを犠牲にしつつ、地域貢献や防災・減災のために日々活動をしています。大変な思いをするからこそ、築けた仲間、先輩・後輩との絆はとても強く、一生の宝物だと思えます。

入団はもちろん、市民の皆さんの消防団に対する理解も消防団への「参加」となります。皆さんの「参加」をよろしくお願いいたします。

消防団Q&A

Q 消防団員の任期はどれくらいですか。

A 任期は5年です。3年目からの3年間は、消防予備隊として活動します。訓練回数は大幅に減り、大きな災害が起きた場合などに活動します。

Q どんな人が団員になれるのですか。

A 満18歳以上、市内在住・在勤で健康上問題がない人です。

Q 市内にある分団数は。

A 5つの分団で市内各地区を分担しています。

第1分団（新川、中央地区の一部）、第2分団（大浜地区）、第3分団（棚尾、中央地区の一部）、第5分団（旭地区）、第6分団（西端地区）

Q 消防団の主な活動内容は。

A ①火災、台風、地震などの災害対応②操法訓練、非常招集訓練、水防訓練などの各種訓練③4大行事への参加④各分団レクリエーション行事や地区行事への参加などです。

Q 報酬や退職報償金はありますか。

A 報酬は1年ごとに階級に応じて支給され、退職報償金は勤務年数に応じて支給されます。

報酬（年額） (円)

団員		予備隊	
階級	金額	階級	金額
団長	163,000	隊長	81,500
副団長	125,000	副隊長	62,500
分団長	73,500	分隊長	36,800
副分団長	60,500	副分隊長	30,300
部長	41,500	班長	20,800
団員	36,500	隊員	18,300

退職報償金 (円)

階級	勤務年数		
	2年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満
団長・予備隊長	138,000	241,000	344,000
副団長	132,000	231,000	329,000
分団長・分隊長	128,000	223,000	318,000
副分団長・副分隊長	122,000	213,000	303,000
部長・班長	114,000	199,000	283,000
団員・隊員	106,000	185,000	264,000

※そのほか支度金として入団時に3万円を支給します。

Q 活動中にけがをしたときの補償はありますか。

A 活動中のけがなどには、補償制度があります。消防団活動中にけがをしたときは、医療費の全額を補償します。そのほかに、けがのために収入がなくなったときの休業補償や治療後障害が残ったときの障害補償、死亡したときの遺族補償制度が整っています。

問合せ 防災安全課防災係